

## 感 染 症 ガ イ ド ラ イ ン 概 要

保育園入園児がよくかかりやすい感染症をあげました。

主な症状や登園のめやすを参考に、感染症にかかった疑いがある場合には、速やかに病院で診察してもらい、感染症の診断がおりましたら、保育園にその旨をご連絡下さい。そしてかかりつけの医師の診断に従い、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、お願いします。

登園の際には園の「登園届」に記入し、持参してください。

### <よくかかりやすい感染症>

病名	潜伏期間	主な症状	登園のめやす
インフルエンザ	1～4日	悪寒・頭痛、39～40℃の高熱、咳、鼻水、のどの痛み、吐き気・下痢・関節や筋肉の痛み	発症した後5日を経過し、かつ熱が下がった後3日を経過するまで
百日咳	7～10日	コンコンという短く激しい咳が続く	特有な咳がなくなるまで 又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
麻疹 (はしか)	8～12日	発熱、咳、結膜の充血・目やに、発疹(頬～耳後部～下方に広がる赤い斑点)	熱が下がった後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎 (おたふく風邪)	16～18日	発熱、耳の前下部の腫れと痛み	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
風疹	16～18日	耳の後ろ首のリンパ腺の腫れ、顔面から頭部・体全身・手足にピンクの発疹、38℃前後の発熱	発疹が消えるまで
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	発疹は頭部や口の中・体全身出る。赤い発疹→水疱→かさぶたへと変化	発疹が全てかさぶたになるまで
咽頭結膜炎 (プール熱)	2～14日	38～40℃の発熱・目やに・結膜の充血・のどの痛み	症状が消えてから2日を経過するまで
結核	2年以内 (特に6カ月以内)	発熱・咳・喀痰・喀血・疲労	医師が感染の恐れがないと認めるまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157等)	3～4日 (1～8日)	激しい腹痛・水様性の下痢・血便	症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて2回の検便で菌陰性となるまで
流行性角結膜炎	2～14日	目の異物感・結膜の充血、まぶたの腫れ・涙を流す	医師が感染の恐れがないと認めるまで
急性出血性結膜炎	1～3日	目の痛み、異物感・涙を流す、結膜の充血	医師が感染の恐れがないと認めるまで
伝染性紅斑 (リンゴ病)	4～14日	頬に鮮やかな赤い斑点ができリンゴのようになる・手足にも斑点が出る、発熱	全身状態が良いこと(医師の判断)
手足口病	3～6日	手の平・足の甲や裏・口の中に水泡、軽い発熱	発熱がなく、普段の食事ができること(医師の判断)

溶連菌感染症	2~5日 膿痂疹は 7~10日	のどの痛み・高熱・嘔吐・赤く小さな発疹・いちご舌	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	2~3週間 (1~4週間)	咳・発熱・頭痛などの風邪症状、咳が長引く、中耳炎・発疹を伴うことがある	発熱や激しい咳が治まっていること
感染性胃腸炎 (ロタウイルス・ノロウイルス)	ロタウイルス 1~3日、 ノロウイルス 24~48時間後	吐き気・嘔吐、下痢（乳幼児は黄色より白色調であることが多い）	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事ができること
RSウイルス感染症	4~6日	発熱、鼻汁、咳や痰が出る、喘息、呼吸困難	重篤な呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	3~6日	高熱、のどの痛み、のどの奥に白い小さな水疱疹	発熱がなく、普段の食事ができること
帯状疱疹	不定	小さな水疱が神経に沿って片側に現れる	発疹が全てかさぶたになるまで
突発性発疹	約10日	38℃以上の発熱後、熱が下がるとともに体に赤い発疹が出る	熱が下がったあと、1日以上経過し、全身状態が良いこと
伝染性膿痂疹 (とびひ)	2~10日	湿疹や虫さされ痕を掻きむしった部分等にびらんや水疱ができる	皮疹が乾燥しているか、湿潤部分が覆うことができる程度であること
伝染性軟属腫 (みずいぼ)	2~7週間	直径1~3mmの半球状に盛り上がった丘疹	掻きこわし傷から滲出液が出ているときは覆うこと
アタマジラミ	10~14日	小児では無症状であることも多い、かゆみ	駆除を開始していること
単純ヘルペス	2日~2週間	歯肉口内炎、口周囲の水疱	発熱がなく、よだれが止まり、普段の食事ができること
A型肝炎	15~50日	急激な発熱、全身のだるさ、食欲不振、悪心、嘔吐、黄疸	肝機能が正常であること
B型肝炎	45~160日	急性では、全身のだるさ、食欲不振、黄疸など 慢性では、自覚症状は少ない	急性肝炎では、症状が消え全身状態が良いこと 慢性肝炎では、登園制限はなし